

移住110周年記念ブラジリア日本語スピーチコンテスト

大使挨拶

- 皆さんこんにちは。ブラジル日本人移住110周年記念ブラジリア日本語スピーチコンテストの開会にあたり、日本政府を代表しまして、一言御挨拶を申し上げます。
- まず始めに、日本語普及協会の三分一（さんぶいち）理事長、矢田（やだ）副理事長をはじめ、本コンテストの実施、生徒さんたちへのご指導に尽力されてきた全ての先生方に心より敬意を表します。
- さて、学習者の皆さん。新しい言語を習得するということは、皆さんの人生を楽しく、豊かなものにする、とても意義の大きなことです。言葉の勉強の良いところは、頑張れば頑張っただけ成果が出てくる所です。本日、皆さんの日々の努力の成果を拝見できるのを、私はとても楽しみにして参りました。
- 世界には6000以上の言語があると言われてますが、ネイティブスピーカーが1億人以上いる言葉は10しかありません。ポルトガル語話者は2億2300万人。日本語話者は1億2800万人です。

- これらを足すと 3 億 5000 万人近くになります。もしポルトガル語に加えて、日本語を使うことができるようになれば、これから先、皆さんには様々なチャンスや多くの出会いが巡ってくるものと思います。
- 日本はブラジルから見れば地球の反対側、最も遠い所にありますが、ブラジルでは 700 以上の日本企業がビジネスをし、5 万人以上の日本人が住み、日本語とポルトガル語を使いながらブラジル人と一緒に生活しています。
- 一方、日本には約 18 万人のブラジル人が住み、日本の経済に大きく貢献し、ブラジルの文化を日本に広める役割を果たしています。そして、2020 年には東京でオリンピック・パラリンピックが開催されます。2 年前に多くの日本人がリオを訪れたように、今度は多くのブラジル人が日本を訪れることでしょう。
- 私たちはこうした両国の絆、友情、協力関係をこれからもっともっと強くしていきたいと考えており、そのために最も重要な架け橋の一つが日本語の学習であると考えています。私自身、そして在ブラジル日本国大使館のスタッフは引き続き、日本語学校や日本語学習者への支援を充実できるように努力していきます。

- 最後に、本日、皆さんがこれまでの努力の成果を存分に発揮し、それぞれの夢や目標に向かって力強い一歩を進める機会になることを祈念しまして、私からの挨拶とさせていただきます。皆さん、頑張ってください！
どうも有り難うございました。